

13.11.09 奥多摩大岳山山行報告

M1 堀江 栄之

① 参加メンバー：6名（敬称略）

M3 荒川 M2 田中 M1 後藤 堀江 C1 鈴江 聖路加看護大四年 進藤

② 行程

御嶽山駅 09:40～10:00 御岳神社 10:20～11:30 大岳山荘 11:30～11:45 大岳山 12:30～13:40 鋸山 13:50～15:35 愛宕山 15:35～16:00 奥多摩駅

③ 本文

天候はやや曇りがちだったが、秋らしく涼しい風が吹いていて、山行にはちょうどよい気候だった。今回は新 M0 歓迎山行として、都心からのアクセスも良い奥多摩を選んだが、残念ながら六名の参加メンバーの中に新 M0 はいなかった。翌日の天気予報が雨ということ

ともあって、下車駅には登山客が多く集まっていた。

駅からバスへの乗り換えが2分間というタイトなスケジュールだったが、電車が遅れて到着したので、案の定バスに乗り遅れてしまった。が、運よく出ていた臨時バスに乗れたため、時間ロスは最小限にとどまった。バス停もケーブルカー乗り場の滝本駅も人でいっぱい



で、ケーブルカーも自分たちのグループでちょうど定員となった。臨時バスに引き続いての幸運だった。ケーブルカーの中からは、紅葉した葉とともに緑の葉も多く見られた。山行計画を立てた段階では、紅葉の見ごろが終わってしまうことを危惧していたが、まさかまだ色づき始めであるとは思わなかった。

ケーブルカーを御嶽山駅で降りると、表参道を通して御岳神社に向かった。参道はアスファルトで舗装されていて、普通の市街地を歩いているのと大差はなかった。予定時間より遅れていたため、御岳神社には長く留まらず、先を急いだ。ここから道の舗装もなくなり山道らしくなったが、傾斜は緩くてハイキングのような道だった。分岐点が多か



ったので、ルートを間違えないよう気を付けつつ、仲間と紅葉と談笑を楽しみながら山頂を目指した。山頂が近くなってくるとさすがに勾配がきつくなってきたので、芥場峠で小休止した。



休憩後、今は使われていない大岳山荘を過ぎて、山頂まであと少しとなったところで、にわかに道が狭くなり、手を使わなければ登れない岩場となった。下りの登山客と道を譲りあいながら少しずつ登っていき、予定より 5 分遅れで大岳山山頂に到着した。

山頂はそれまでの狭い道に比べると開けていて、多くの登山客で賑わっていた。山頂では学生代表の荒川が部員に紅茶を振舞うなどして全員山頂での昼食を楽しんだ。最後に記念撮影をして、鋸山へと足を進めた。



始めは上り同様急勾配の道を下ったが、しばらくするとなだらかな尾根道となり、紅葉した木々に囲まれながら先を急いだ。鋸山の頂上に近づくにつれて緩やかであるもののアップダウンが連続して現れ、これが”鋸”山の名前の由来なのかもしれないと思った。山頂付近で再び傾斜がきつくなったが、大岳山ほどではなく、ほどなく鋸山山頂に着いた。ここで 10 分間ほど休憩して、下山を始めた。





鋸山からはただひたすら山を下っていった。途中、鎖場の分岐ルートがあった。かなりの傾斜だったので、有志で数名が鎖場に挑戦した。愛宕山を過ぎてしばらくすると、長い下りの階段が現れた。斜度が 30 度を超えていそうな急な階段で、足を滑らせたら、そのまま下まで落ちていきそうだった。

下山後、近くの温泉に入る予定だったが、登山客が多いためか、どこも混雑していてすぐに入浴できる状態ではなかった。諦めて帰宅の途についた。

新 M0 歓迎ということで、ケーブルカーを使うなど、山岳部としては易しめのルートとなったが、岩場や鎖場もあってなかなか楽しめた山行だったと思う。これで新 M0 の参加者がいて、もう少し紅葉が色づいていたら文句のない山行になっただろう。